

DIAMOND[®]

取扱説明書

45度カッター

DC-16T

DC-22T

ご使用前に必ずお読みください

- 取扱説明書をお読みになっていない方の本機のご使用は、禁止とさせていただきます。
 - 安全に、効率よくご使用いただくため、必ずこの取扱説明書を最後までお読みになり、内容をすべて理解した上で、機械を使用してください。
 - この取扱説明書をお読みになった後は、お手元に大切に保管して下さい。
 - また、この取扱説明書を紛失された場合は、弊社営業所までご連絡下さい。
-

DIAMOND[®] 製品を

安全にお使い頂く際のご注意

このたびは株式会社 IKK 製の製品をご使用いただき誠にありがとうございます。

取扱説明書は安全に正しい作業でご使用いただけるように、注意事項をまとめたものです。それぞれの機械に対してそれぞれの特徴があるのと同様に、その危険性にも特徴があります。各機械の注意事項は後のページで記述をしてありますので、この項については一般的共通事項としてご理解していただき、各機械の注意事項と併せてご注意され、安全な作業を行っていただきますようお願いいたします。

この取扱説明書に示されている操作方法および、安全に関する注意事項は、この取扱説明書で説明されている使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に書かれていない使用方法で作業を行うことはおやめください。

注意事項は「・警告」・「・注意」に区分をして記述をしています。お守りいただかないと作業者が死亡・または重傷にいたる恐れのある注意事項は「・警告」、作業者が障害を負う人身事故につながる恐れのある内容および機械の破損、故障が発生する恐れのある注意事項を「・注意」として記載しています。

なお、「・注意」と記載された事項であっても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ずお守りください。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令及び各都道府県などの条例で定める規制があります。周囲に迷惑をかけないように各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。

状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

一般的共通事項

■ 警 告

★この製品は、本取扱説明書で説明されている以外の用途には絶対にお使いにならないでください。

★本取扱説明書に従い、正しい取扱いで安全に作業してください。お子様や正しい取扱いを十分知っていない人、正しい操作が出来ない人には絶対に使わせないでください。また、機械の使用者を特定し、取扱指導を受けてからお使いください。取扱指導を受けずに機械の操作をすることはやめてください。

★湿気はモーターの絶縁性を低下させ、感電事故のもとになります。雨中、湿った場所、ぬれた場所、機械内部に水や油の入りやすい場所などでは使用しないでください。

★万一の感電事故を防止するために、漏電しゃ断器を通した電源をご使用ください。なお、二重絶縁品を除き必ず正しい接地【アース】をしてください。

★パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠等に電動工具を使用しているときは、身体を、接地【アース】されているものにさわらないで下さい。

★整理整頓は安全の第一歩です。作業台、作業場所は十分に明るくし、常に整理整頓に心がけてください。ちらかった場所は事故の原因となります。

★電動工具は使用中に整流火花を発生します。またスイッチの開閉時にも火花を発生します。ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤等、引火または爆発の恐れがある物質のある場所では危険ですので絶対に使用しないでください。また、密閉された部屋、坑内等の換気の悪いところでの使用は絶対にやめてください。

★作業関係者以外は、作業場所に近づけないでください。とくにお子様は危険です。また作業員以外は、電動工具やコードなどに触れさせないでください。

- ★きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服、ネックレスなどの装身具、ネクタイ、袖口の開いたもの、首に巻いたタオル、編手袋等は機械の回転部に巻き込まれる恐れがあり危険ですので身につけないでください。
- ★安全のため、ヘルメットを着用し、ゴム底の安全靴をはいてください。
- ★作業中は保護メガネをご使用ください。多くの場合、目の保護のため保護メガネが必要です。保護メガネは作業内容に応じたものを、お近くの機械工具店等でお買い求めください。また、ほこりが多く出る場合は、防塵マスクと集塵機(集塵装置)を併用して使用してください。
- ★刃物および工具類は、指定された純正部品を使用してください。また、刃物においては新品または新品同様に破損、欠陥のないものをお使いください。指定外のものでは、思わぬ事故をまねくことがありますから、絶対に使用しないでください。また、使用限界が表示されているものは必ずその範囲内で使用してください。
- ★刃物類や付属品の取付けは正規の位置に正規の方法で、指定工具を使用し確実に行ってください。締め付け不足や締めすぎは危険です。また、取付けてあるカバー類やネジ類などはそれぞれ大事な役目を果たしておりますので取りはずさないでください。
- ★ネジ類などはゆるんだり、脱落していないか運転前に必ず確認し、ゆるんでいた場合には増締め、脱落していた場合には修理に出して下さい。
- ★刃物類や部品、付属品の取付けや点検をしたとき使用したスパナ、レンチ、ネジ回しなどの工具類の撤去(撤収)を忘れずと起動時に飛散し思わぬ事故のもとになり危険です、絶対忘れないよう起動前に再確認してください。また、回転固定装置なども運転前に必ず再確認してください。
- ★電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示以上の電圧で使用されますとモーターの回転が異常に高速となり、モーター、機械本体、刃物などが破壊する恐れがあり危険です。また、逆に低い電圧でご使用されましてもモーター故障の原因となります。

- ★さし込みプラグを電源にさし込む前に、機械が突然始動しないようにスイッチが切れていることを確認してください。
- ★さし込みプラグを電源に接続した状態で機械を持ち運ばないでください。スイッチに指をかけていなくても衣服や他の場所にスイッチが引っかかる場合があります、誤ってスイッチが入ってしまったときに思わぬ事故につながる可能性があります。
- ★無理な姿勢での作業は危険です。常に足場に注意して安定した姿勢で作業してください。
- ★運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気がついた場合には直ちに運転をやめ、点検・修理に出してください。
- ★機械や付属品は、その能力をこえて使用したり、急激な操作はしないでください。無理な作業は、機械の損傷を招くばかりでなく、危険ですので避けてください。
- ★機械の運転中は、絶対に刃物類や回転部および切り屑に触れたり、手や顔などを近づけないでください。
- ★使用後および、刃物類、消耗品、部品、付属品の交換、掃除、点検、停電等の際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。
- ★機械を使用しないとき、点検・整備をするとき、または刃物類や付属品を交換するときには必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。
- ★常に安全に能率よくご使用いただくため定期点検をしてください。また、修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので、点検・修理はお買い求めの販売店または取扱説明書裏面記載の株式会社 IKK 本社もしくは各営業所などにお申しつけください。なお、部品を交換する場合は、必ず指定された純正部品をお使いください。

■ 注 意

- ★機械は大事に取扱ってください。誤って落としたり、ぶつかけたりしますと外枠などが変形したり、亀裂や破損を生じる場合がありますので十分ご注意ください。もし、誤って落としたり、ぶつかけたりした場合には、必ず使用前に十分な点検を行い、安全を確認してから使用してください。また異常が確認された場合には、直ちに修理に出してください。
- ★コードをつかんで製品を運んだり、コードを引っばってコンセントから引き抜いたりしますとコードをいため断線、ショートの原因となります。また、コードが刃物類、高温のもの、薬品などに触れないように注意してください。コードが損傷した場合は直ちに作業を中止し、修理に出してください。
- ★機械の風窓はモーターを冷やすために必要な部分です。ほこりが飛ぶからといってふさがないでください。もしふさいだりしますとモーターの温度が上がり焼損の原因となります。
- ★常に機械の手入れに心がけ最良の状態でご保管してください。とくにモーター部やスイッチ部のほこりは汚れのひどい時だけでなく、毎使用後に拭き取るよう心がけてください。また、コードは油やグリースなどによって劣化しないようにいつもきれいに清掃しておいてください。
- ★刃物類は常に手入れしていつも切れ味の良い状態でご使用ください。切れ味がわるいと仕上面がわるくなるばかりでなく、モーターが過負荷となり故障の原因となったり、作業能率も上がりません。

★機械や付属品は次のような場所に保管してください。

- お子様の手が届かない所、または錠のかかる所
- 温度や湿度の急変しない所
- 雨のかからない、湿気のない所
- 直射日光のあたらない所
- 引火または爆発の恐れがある揮発性物質の置いてない所

騒音防止規制について

★騒音に関しては、法令および各都道府県などの条例で定める規則があります。周囲に迷惑をかけないように各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

回 二重絶縁について

★二重絶縁とは、電流の流れる導体などの部分と人の触れる部分が、それぞれ別な絶縁物で二重に絶縁された構造を言います。二重絶縁モーターでは、たとえ一つの絶縁部分がこわれても、もう一つの絶縁で保護されており、感電に対する安全性が高くなっております。このような電動工具を二重絶縁工具と呼び、回マークを表示しております。しかし、こわれた状態で使用していると感電事故を招く恐れがありますので修理に出して下さい。

一般的共通事項

★油圧オイルの取り扱いについて

■ 警 告

★目にはいると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は、保護メガネを使用するなど目に入らないようにした後、取り扱いを行ってください。

★皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際には、保護手袋を使用するなど皮膚に触れないようにした後、取り扱いを行ってください。

★飲み込むと下痢、嘔吐しますので絶対に飲まないでください。

★使用しない時は、容器のふたを締めて、子供の手の届かないところに保管してください。

- ★容器は残留物(液体または蒸気)が残っているので危険です。容器を熱・炎・スパークあるいはその他の発火源に近づけないでください。破裂することがあります。
- ★容器を加圧したり、切断、溶接、ろうづけ、はんだづけ、穴あけまたは、研削しないでください。爆発を伴って残留物が発火することがあります。

応急処置

- ★目に入った場合は、清浄な水で15分間洗浄し、医師の診断を受けてください。
- ★皮膚に触れた場合は、水と石けんで十分に洗ってください。
- ★飲み込んだ場合は、無理に吐かせずに、直ちに医師の診断を受けてください。

保管方法

- ★ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓してください。
- ★直射日光を避け、暗所に保管してください。

廃油の処置

- ★処理の方法は、法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。
- ★海、河川、湖、その他川付近及び排水溝に廃棄しないでください。火災の危険があるだけでなく、環境汚染につながります。
- ★ご不明な点がおありの場合は、購入された販売店におたずねください。

ご使用上の注意

警告

先に電動工具ご使用上の一般的注意事項について申し述べましたが、さらにどの製品にもその製品特有の注意事項があります。これからご使用いただく45度カッターについては、下記の事項に特にご注意願います。

1. 正しい用途で安全作業

本機は全ネジボルトおよびコンクリート補強に使用する鉄筋を垂直もしくは斜めに切断することを目的とした携帯用工具です。この用途以外には絶対使用しないでください。この用途に合った作業にお使いください

2. 指定以外の電圧で使用しない

指定以外の電圧で使用しますと、材料が切断できない、モーターが焼けるなどの事故の原因となります。指定電圧の上下10%以内で使用してください。100V品を200V電源に接続すると、モーターの回転数が異常に高速となり、機体が破壊する恐れがあります。直流電源ではお使いにならないでください。製品の損傷を招くばかりでなく、危険です。現場で、延長コードを用いた場合に指定以上に電圧降下する時は、途中にパワーブースターを接続し100Vにて使用してください。

3. 電源コンセントの確認

さし込みプラグを電源コンセントに差し込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら、修理が必要です。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

4. 最大能力を超えた作業はしない

仕様欄にある本機の最大能力を超えた作業はしないでください。
また、PC 鋼線などの硬い材料を切断する際は短く切断しないでください。
切断片が飛ぶことがありますので切断長を十分に取るようにしてください。

5. 感電に注意

本機は、モーターを使用しておりますので、雨または、雪の中では使用しないでください。また、二重絶縁でない製品は、必ずアースをしてご使用ください。

6. 指定用途以外に使用しない

取扱説明書に指定された用途以外にはご使用にならないでください。

7. 正しい取扱いで安全な作業を

取扱説明書に従い、正しい取り扱いで安全に作業してください。お子様など正しい取り扱いを十分に知らない人、正しい操作ができない人には絶対に使わせないでください。

8. 作業前に再点検

カッターブロックやハウジングの取り付けボルトの緩み、油圧オイル量などを作業前に点検してください。また、スパナなどの工具類は忘れずに機体から取り外してください。

9. 火気に注意

油圧オイルは引火しやすいですから、火気を近付けないよう次の点に注意してください。

- ・運転中、または機体の温かい時は、ポンプケースのオイルプラグを外さない
- ・油圧オイルの補給は、本体が良く冷えてから行う。
- ・油圧オイルの補給は、周囲に可燃物のない場所を選び、こぼさない。こぼれた時はよく拭き取る。
- ・油圧オイルの補給時や運転中はたばこを吸わない。
- ・運転する時は、油圧オイルを補給した場所を離れて行う。

10. カッターブロックは純正部品を

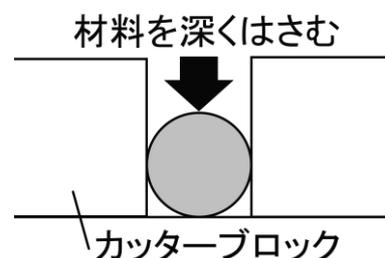
カッターブロックは指定された純正部品で、新品、または新品同様の破損・欠陥のないものをお使いください。指定以外のものでは、思わぬ事故を招くことがありますから絶対に使用しないでください。

11. 正規の部品を正規の位置に

カッターブロックや付属品の取り付けは正規の位置に確実に行ってください。締め付け不足や締めすぎは危険です。ネジ類などはゆるんだり、脱落していないかを運転前に必ず点検し、増し締め、補填をしてください。

12. 材料はカッターブロックの間に深くはさむ

材料はカッターブロックの間に深くはさみ、切断してください。浅い位置で切断しますとカッターブロックを損傷したり、切断片が飛ぶことがあります危険です。



13. スイッチ操作時は、絶対にカッターブロックに指を近づけない

スイッチを操作する際には、カッターブロックには絶対に指を近づけないでください。

14. 安定した姿勢で安全作業を

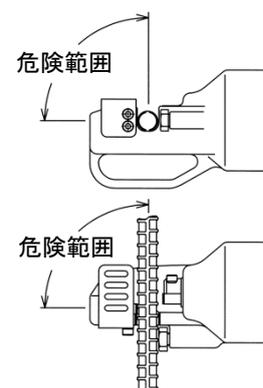
無理な姿勢での作業は危険です。常に足場に注意して安定した姿勢で作業してください。

15. 高所作業は下に注意

高所で作業される場合には、下に人がいないことをよく確かめて作業してください。本機を置く場合は安全で安定した場所に置くようにしてください。

16. 作業中には周囲の人にも注意

材料を15cmより短く切断すると、切断片が右図の矢印の範囲に飛ぶことがあります。切断片が飛ぶ方向に人がいないことを確認してください。



17. 異常が起きたらすぐ運転中止

運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気がついた場合には、直ちに運転をやめ、点検・修理に出してください。

18. 切断力が落ちたら一度休んで本体を冷やす

本体の表面温度が60℃以上になると、油圧オイルの粘度が低下し、切断力が落ちます。一度休んで本体を冷やした後、また使用してください。夏は特にポンプケースが高温になりますのでご注意ください。

19. 摩耗・破損・変形しているカッターブロックは使用しない

摩耗・破損・変形しているカッターブロックなどを使用していると、機械を損傷させるだけでなく危険ですので、新しいカッターブロックに交換してください（目安として2000本前後ですが、摩耗や変形には常に配慮してください）。

20. 点検・清掃・カッターブロックの交換時は、さし込みプラグを電源から抜く

点検・清掃・カッターブロックの交換の際には、さし込みプラグを必ず抜いてから行ってください。誤ってスイッチを入れてしまうと危険です。

21. 45度カッターの移動時には特に気を付けてください

移動時には収納ケースに入れて、完全に錠をしめてから、本人はもちろん、まわりの人にも気をつけて正しい持ち方で移動してください。

22. ハウジング先端のボルト穴はふさがらない

ハウジング先端にあるボルト穴はハウジング内部に空気を送る大切な空気穴です。この部分を泥やモルタルなどでふさがないように注意してください。空気の供給が断たれますとパワーの低下や材料の噛み込みなどといった症状を引き起こし、故障の原因となります。

23. 保護メガネ・保安帽・安全靴・皮手袋・防塵マスクを使用してください。

作業中は、保護メガネ・保安帽・安全靴・皮手袋・防塵マスクをつけて、機械から目を離さず作業をしてください。

特に清掃をする時は、必ず皮手袋をして掃除をしてください。材料の切り屑が手に刺さり危険です。

・注意

1. オイル量の点検は作業前に必ず行ってください。

本機は油圧で作動します。オイルが減るとパワーが落ち、十分な性能が発揮されませんので、オイル量の点検は作業前に必ず行ってください。

- ・国際 ISO 補助粘度グレード46相当 (VG46相当品)
- ・弊社ではモービル・ヌトールH46 を純正品としております。

純正オイルは販売店・営業所にご注文ください。

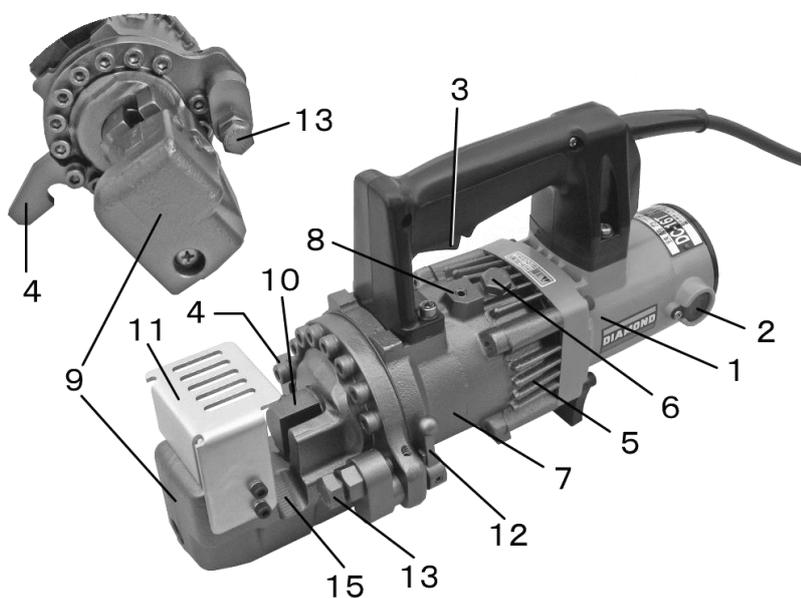
本体の温度が60℃以上になるとパワーが落ちますので、一度休んで本体を冷やした後、使用してください。夏は特にアルミ部(ポンプケース)が高温になりますので、ご注意ください。

2. 暖気運転を行ってください

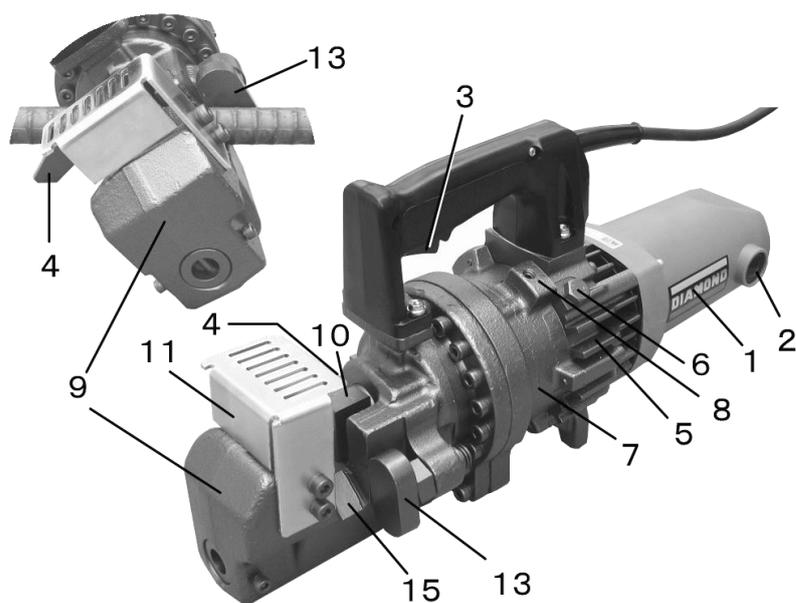
冬季は油圧オイルが固く、動きにくいことがありますので、切断前に30～60秒の無負荷の暖気運転を行ってください。

各部の名称

DC-16T



DC-22T



名称

- | | | |
|-------------------|-------------|----------------|
| 1. モーター | 2. カーボンブラシ | 3. スイッチ |
| 4. スタンド | 5. ポンプケース | 6. オイルプラグ |
| 7. シリンダー | 8. リリースバルブ | 9. ハウジング |
| 10. カッターブロック | 11. 飛散防止ガード | 12. ポジションストッパー |
| 13. アジャスタブルストッパー | | |
| 15. 45度カット用ハウジング溝 | | |

仕 様

本体仕様

型 式	DC-16T	DC-22T
切断能力	SD345 D16以下 全ネジボルト SS400 M16・W5/8 SUS M12・W1/2	SD345 D22以下 全ネジボルト SS400 M22・W7/8 SUS M20・W3/4
切断最小径	4mm	
切断速度	2.5秒	3.5秒
電 源	単相交流 100V・50/60Hz	
電 流	11A 回二重絶縁	20A 回二重絶縁
外形寸法	(L)380×(W)130×(H)220 mm	(L)520×(W)150×(H)250 mm
質 量	11.6kg	22.0kg
標準付属品	工具セット スパナ 17×19mm 六角棒レンチ 4mm ドライバー「+」「-」 オイルポット(油圧オイル70cc) スチール収納ケース	工具セット スパナ 17×19mm 27mm 六角棒レンチ 4・6mm ドライバー「-」 オイルポット(油圧オイル70cc) スチール収納ケース

用 途

全ネジボルトまたはコンクリート補強用に使用する鉄筋の切断作業。
 接着系アンカーの攪拌用に全ネジボルトまたは鉄筋を斜めに切断する。

■ 注意

- ・能力以上の材料の切断は、機械の故障の原因となりますので、材料の径および材質を必ず確認してください。
- ・全ネジボルトの切断を行った場合は切断方法にかかわらずネジ山の変形が起こります。
- ・45度カットを行った場合切断面は非常に鋭利になりますので、けがにご注意ください。

ご使用前に

1. カッターブロックの取り付けボルトを確認してください。
カッターブロックを取り付けているセットボルト(六角穴付き)がしっかりと締めつけられていることを、六角棒レンチで確認してください。
2. 冬季間や寒冷地での使用は油圧オイルが温まらないことがありますので、30～60秒間の暖気運転を行ってください。
3. カッターブロックを確認してください。
摩耗や変形、欠けの生じたカッターブロックを使い続けると、材料は最後まで切断されずカッターブロックに挟まれた状態となり、ピストンが元に戻らなくなることがあります。さらに本体やカッターブロックの破損を招くことがあります。カッターブロックは必ず確認をしてください。
4. 作業環境の整備・確認をしてください。
作業をする場所が注意事項に掲げられているような適切な状態になっているかどうかを確認してください。
5. 切断作業中は絶対に刃物に触れないでください。
6. 移動の必要が生じた際は、収納ケースに入れて完全に錠をしめてから、本人はもちろん、まわりの人にも気をつけて正しい持ち方で移動して下さい。
7. 電源が離れていて、延長コードが必要な時は十分な太さのコードをできるだけ短くしてご使用ください。機械を最高の能率で故障なくご使用いただくために、下記表にある使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを参照ください。

コードの太さ(導体公称断面積)	コードの最大長さ
1. 25mm ²	10m
2. 0mm ²	15m
3. 5mm ²	30m

*コードに損傷がある場合には、修理に出してください。

ご使用方法

本機は鉄筋または全ネジボルトを垂直、もしくは斜めに切断できる機械です。

垂直に切断する場合

1. 機械を安定した姿勢にし、材料をカッターブロックの間に深くはさみます。

2. 材料がカッターブロックに対して直角になるように、切断する材料径に合わせてストッパーを調整してください。



図は DC-16T

3. リリースバルブが閉まっていることを確認してください。

4. ストッパー側の材料をしっかりと保持してください。この時、材料が斜めにならないように注意してください。

5. スイッチを押すと、ピストンが前進し、材料を切断します。ピストンが先端まで前進し、カッターブロックの間隔が小さくなります。この間隔が1mm 位になったらスイッチを切って下さい。ピストンが元の位置に自動的に戻ります。この時、ピストンが完全に戻り終わるまではスイッチを入れてもピストンは前進しません。

6. 使用中に何らかの原因で電源の供給が止まるなどして、材料を噛み込んだ場合には、六角棒レンチを使用してリリースバルブを開いてください。リリースバルブを約60° 緩めますとピストンが後退します。ピストンが最後まで戻りきったのを確認してから、リリースバルブを元の位置に戻し、確実に締めてください。

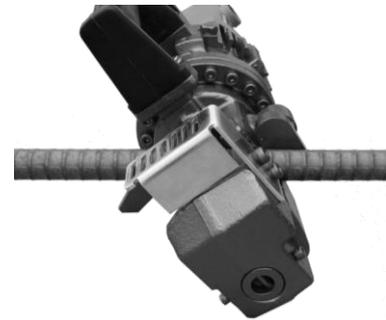
45度切断を行う場合

鉄筋または全ネジボルトを接着系アンカーの攪拌用に斜めに切断する場合。

1. スタンドを横に開き、本体を斜めに傾けます。
2. ポジションストッパーを用いてアジャスタブルストッパーを回転させます。(DC-16Tの場合)
切断する材料径に合わせてストッパーボルトを調節し、材料がカッターブロックに対して直角になるようにセットして下さい。
DC-22Tはストッパーのナット部を回し、ストッパーの位置を調整します。



3. 材料が地面と平行になるようにセットします。
本体を傾けた時、**各部の名称**(P14)の15の位置にある「ハウジング溝」に材料を乗せることで材料と地面が平行になるようにセットします。



4. リリースバルブが閉まっていることを確認してください。
5. スイッチを押すと、ピストンが前進し、材料を切断します。ピストンが先端まで前進し、カッターブロックの間隔が小さくなります。この間隔が1mm位になったらスイッチを切ってください。ピストンが元の位置に自動的に戻ります。この時、ピストンが完全に戻り終わるまではスイッチを入れてもピストンは前進しません。

・ 警 告

- ・最大能力を超えた作業はしないでください。また、PC鋼線などの硬い材質を切断する際は切断片が飛ぶ場合がありますので、特にご注意ください。
- ・作業が終わりましたら、必ずさし込みプラグをコンセントから抜いてください。
- ・45度切断を行った場合は切断面が非常に鋭利になりますので、けがには十分ご注意ください。

点検・保守

・警告

点検・保守の際は必ずさし込みプラグをコンセントから抜いてください。

1. 使用後の手入れ

使用後は、皮手袋をして、ピストンまわりの鉄粉、ゴミなどを清掃してください。

2. 各部取り付けネジの点検

各部取り付けネジの緩んでいるところがないかを定期的に点検してください。もし、緩んでいるところがありましたら、締め直してください。緩んだままですと危険です。各ボルトの増し締めは300～500回切斷ごとに行ってください。

3. 油圧オイル量の点検

パワー不足の原因の一つが油圧オイルの不足によるものです。油圧オイル量の点検は、ご使用前に行ってください。

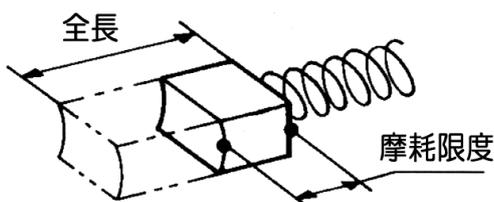
4. 表面の汚れ清掃

本機の外枠は強靱な合成樹脂ですが、ガソリン・シンナー・石油・灯油類を付着させると表面を痛めます。清掃の場合は、乾いた布、もしくは石けん水を付けた布などで拭いてください。

5. カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因になります。長さが摩耗限度(5～6mm)ぐらいになりましたら、新品と交換してください。また、カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。



カーボンブラシの交換の際はセットで交換します。
カーボンブラシは弊社純正品をお使いください。

カーボンブラシの交換方法

各部の名称(P14)の2の位置にあるブラシキャップをはずし、カーボンブラシを取り出します。左右両方をセットで交換します。

6. 油圧オイルの補充方法について

・ 警 告

油圧オイルの補充は、本体がよく冷えた状態で行ってください。

周囲に可燃物のない場所を選び、こぼさないように注意してください。こぼれた場合はよく拭き取ってください。

タバコ、その他の火気を近づけないでください。

油圧オイルは弊社純正品(モービル・ヌトーH46)もしくは ISO グレード46(VG 46相当品)のオイルを使用してください。

油圧オイルの取り扱いには、十分注意してください。

★目にはいると炎症を起こすことがあります。取り扱う際は、保護メガネを使用するなど目に入らないようにした後、取り扱いを行ってください。

★皮膚に触れると炎症を起こすことがあります。取り扱う際には、保護手袋を使用するなど皮膚に触れないようにした後、取り扱いを行ってください。

★飲み込むと下痢、嘔吐しますので絶対に飲まないでください。

★使用しない時は、容器のふたを締めて、子供の手の届かないところに保管してください。

★容器は残留物(液体または蒸気)が残っているので危険です。容器を熱・炎・スパークあるいはその他の発火源に近づけないでください。破裂することがあります。

★容器を加圧したり、切断、溶接、ろうづけ、はんだづけ、穴あけまたは、研削しないでください。爆発を伴って残留物が発火することがあります。

油圧オイルの補充方法

- (1) 最大能力の材料を深くはさみ、スイッチを入れてピストンを5mmほど前進させて、材料を軽く噛み込ませます。
- (2) スwitchを切り、ピストンを止めて、そのままの状態、オイルプラグを外し、注入口いっぱいまでオイルを補充します。
- (3) オイルプラグをいったん締め、スイッチを入れて(1)の材料をそのまま切断します。
- (4) (1)～(3)の操作を2～3回行い、油圧オイルを満タンにします。
- (5) 油圧オイルの補給後は、オイルプラグを十分締め付けてください。

注意

油圧オイルの補充は本体・油圧オイルの冷えた状態で行ってください。
オイル注入時には空気が入らないように注意してください。

7. ピストンまわりの清掃について

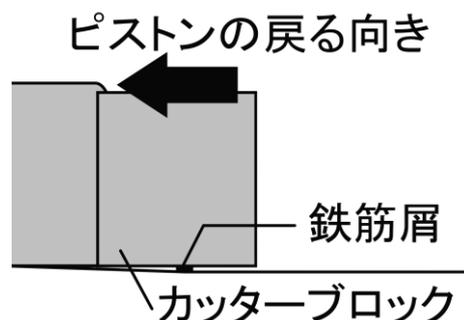
電動油圧式の本製品はその構造上、切断を行ったピストンが最後まで戻りきることで、次回スタート時にピストンが前進します。

IKK製品は厳密な精度で製造されておりますが、切断作業中に発生する微細な材料屑がピストンやカッターブロックに挟まることにより、ピストンの戻りを阻害して、次回スタート時にピストンが動かなくなることがあります。このようなトラブルを防止するために、こまめにピストン、カッターブロックまわりの清掃を行ってください。なお、清掃の際は

- 1) 材料屑が手に刺さる危険があるため、皮手袋を着用。
- 2) 飛散した材料屑が刺さる危険がある為、エアガンは使用しない。

の2点に特に注意してください。

材料の切断後にピストンが戻る際に、微細な材料屑をカッターブロックの下に巻き込んでしまう場合があります。このような時、ピストンは最後まで戻る事が出来ずに、スイッチを入れてもピストンは前進しません。



(リリースバルブで油圧を解除しても戻りません。)

この場合はカッターブロックを一度、ピストンから取り外し、材料屑を取り除いてください。

- 1)ピストンが突然前進しなくなった。
- 2)スイッチを入れた時モーターは正常に作動する。

このような時は材料屑の噛み込みが疑われます。

ピストンまわりを清掃する際は、ピストンを傷つけないように注意してください。

ピストンを材料やハンマーでたたくと故障の原因となります。

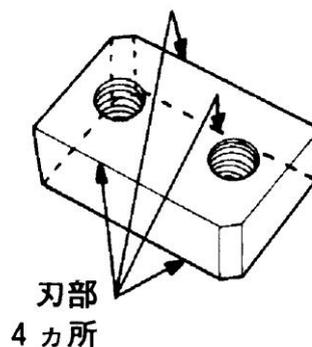
カッターブロックについて

1. カッターブロックの寿命

カッターブロックは切断の繰り返しにより刃部が摩耗したり、変形・欠けなどが生じてきます。このまま、使い続けますと機体に損傷を与えるだけでなく、さらにカッターブロックの破片が飛散するなどの恐れがあり、危険です。

カッターブロックには右図に示すように刃部が4箇所あります。カッターブロックの取付け向きを替えることにより、4

回使用できます。材料を約2000本位切断しましたら摩耗・変形・欠けのない刃部を使用するようにカッターブロックの取付け向きを替えるか、または新しいカッターブロックと交換して下さい。



2. カッターブロックの交換方法

(1) 取り外し

付属の六角棒レンチでハウジングとピストンの六角穴付ボルトをゆるめて外し、カッターブロックを取り外します。

(2) 取り付け

- ①ハウジングとピストンに付着しているゴミや汚れを布などで拭き取ります。
- ②ハウジングとピストンの取り付け穴に、カッターブロックのネジ穴を合わせ六角穴付ボルトで固定します。
- ③六角穴付ボルトを六角棒レンチで十分締め付けます。

ご修理の際は

IKK製品は、厳密な精度で製造されておりますが、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらずにお買い求めの販売店または取扱説明書裏面記載の株式会社 IKK 本社もしくは各営業所などにお申しつけください。

十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となりますので修理の知識や技術のない方は修理・分解を行わないでください。

DIAMOND®



サンコーテクノグループ

株式会社 **IKK**

本 社 / 〒410-0001 静岡県沼津市足高 396-59

TEL 055-922-8811 FAX 055-922-2880

(営 業 所)

札 幌	〒003-0012	北海道札幌市白石区中央二条 6-4-18	TEL	011-865-6331
			FAX	011-865-6332
仙 台	〒984-0002	宮城県仙台市若林区卸町東 1-2-8	TEL	022-231-0170
			FAX	022-238-9181
東 京	〒110-0003	東京都台東区根岸 5-13-16	TEL	03-5824-3588
			FAX	03-5824-3580
横 浜	〒240-0002	神奈川県横浜市保土ヶ谷区宮田町 1-3-1 石原ダイヤモンドビル	TEL	045-340-2257
			FAX	045-340-2259
名古屋	〒454-0869	愛知県名古屋市中川区荒子 2-128-3	TEL	052-364-0385
			FAX	052-364-0386
金 沢	〒920-0362	石川県金沢市古府町南 1-27	TEL	076-269-2426
			FAX	076-269-2436
大 阪	〒578-0956	大阪府東大阪市横枕西 6-23	TEL	072-960-7707
			FAX	072-960-7708
広 島	〒730-0844	広島県広島市中区舟入幸町 16-15	TEL	082-503-5900
			FAX	082-503-5901
福 岡	〒816-0912	福岡県大野城市御笠川 4-11-24	TEL	092-504-3246
			FAX	092-504-3256

下記ホームページにて弊社最新情報をお届けしております。

<http://www.diamond-ikk.com>